

令和元年9月～令和2年3月実施

講座レポート

地域の買い物難民を考える 市民企画会議

地域にひろがる
黒松市民センター

●お問い合わせ

TEL 022-234-5346

■受付時間 9:00～21:00

●休館日 月曜日・祝日の翌日・年末年始

指定管理者（仙台市教育委員会指定）

公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団



地域の方より、買物に不便を感じている人が多いという課題提案を受けて、5年先10年先を見据えながら買物が困難な状況をどう解決できるかについて、地域住民の方や地域内で活動している団体の皆さんが企画員となり、話し合ってきました

第1回 勉強会「先進事例に学ぶ」 9/11 〈参加者16人〉

「燕沢地区の地域交通“のりあい・つばめ”の取組み」と「館地区の移動販売車“クルリン号”の取組み」について、当事者の皆さん4名をお招きし、取り組むに至った背景やこれまでの経緯、現状や今後の課題についてお話を伺いました。質疑応答・意見交換では様々な質問や活発な意見交換がなされ、関心の高さが伺われました。



第2回～第8回 企画会 9/18～3/3 〈企画員10人〉

月1回企画会議を持ち、買物が困難な状況について解決策を考えてきました。その中で、乗り合いバスのような取り組みは地域の実状には適さないことが見えてきました。ではどのような手助けできる方法があるか？について話し合われた中で、様々なアイデアや情報が集まるとともに、坂道が買物を困難にしている状況も見えてきました。それに伴い、坂道を歩きやすくするため、手すりのゆるみ整備や設置の要望などの働きかけも行いました。

●坂道を歩く際につかまる歩道の手すりがゆるんでいては危険

黒松駅前の手すりは区役所にゆるみ点検・整備をしてもらいました。

●手すりのない坂道に手すりがあるといい

手すり設置を区役所に要望しました。

●坂道の移動手段として電動カートはどうか？

今後試乗会など企画できればと考えています。

●黒松駅前を通るバスがあると買い物に行きやすくなる

既存バス路線のコースを一部変更することで買物事情も変わるということが見えてきました。

今後、地域の皆さんのご意見も伺いたいです。



黒松駅前を通るバス路線の変更を考案中



企画会で集まったすぐに使える情報については、中間報告書にまとめて皆さんにお届けすることにしました。



企画員の声

- ・有意義な時間を過ごさせていただいた。高齢化が進む中、考えさせられる大きな課題でもあり、真剣に取り組んでいくことだと思う。
- ・企画会議に参加する人がもう少し増えて活発な意見がでると良いと思う。来年度もできるだけ参加して、自分も買い物難民として対象になった時に、上手に利用できる様の一つでもよい手段が提供出来たらよいと思う。
- ・会議の目指す方向、到達点が曖昧模糊としている中で、一番型にはまらない、満足度の高い結果になるやり方だったかなと思う。
- ・会議に参加させてもらって思うことは「黒松団地の生活環境」が言われるほど悪いものではないということ。
- ・買い物や通院の不便さが解消されると思うので、バス路線変更が実現できるよう願う。